



未来を創る はじまりの仕事。

回覧

私たちの暮らしに
欠かすことのできない測量と地図。
だから私は、この仕事で社会を支える。

測って、描いて、解決する。測量と地図。

この地図は、国土地理院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。

広報推進協議会(測量・地図作成分野)

測量の役割や重要性等について、多くの皆様にご理解いただき、関心を持って頂くために2015年に発足した団体です。測量に携わる産学官の関係者が一体となって取り組みの推進を図っています。

(一社)全国測量設計業協会連合会
(一財)測量専門教育センター
(一社)地図調製技術協会
(公社)日本測量協会

(公財)日本測量調査技術協会
(一財)日本地図センター
国土交通省国土地理院



このリーフレットは「測量の日」実行委員会と連携して作成しました。



◆ 測量・地図作成の仕事

スマートフォンで誰もが使える地図は、測量が捉えた国土の姿です。国土の姿を適切に捉えることは、国民の安全と安心を確立するためにも、道路や堤防、鉄道、港湾といったインフラを整備・管理するためにも、ひいては経済社会の発展のためにも重要です。

国土の姿は、公共事業を行う国や地方公共団体だけでなく、開発を行う民間事業者や資産管理を行う個人が計画する「測量」によって捉えられています。

また、国土の姿は「地図作成」によって描かれた地図がスマートフォン等でも簡単に見ることができ、日常生活の中に伝わっていきます。

これら「測量」や「地図作成」を担っているのが測量技術者です。測量技術者が国土や社会インフラの位置・形状を測定し記録することによって、我が国の経済社会活動が円滑に実施されているのです。未来を創るはじまりの仕事。それが測量・地図作成の仕事です。

◆ 広がる仕事の世界 ～先輩からの一言～



測量技術者の仕事の世界は、国土の姿を捉えるための「測る」こと、国土の姿を伝えるための「描く」こと、我が国の社会経済活動における、例えば自動運転、防災・減災、マーケティング

等にまつわる問題を「解決する」こと等さまざまな領域に広がっています。

それぞれの領域に携わる先輩方の一言を紹介します。

測る



鳴海 園佳
東日本総合計画(株)

トータルステーションや地上レーザスキャナを用いて地形・地物を測り、現況平面図・縦横断面図の作成や三次元モデルの作成業務に携わっています。図面が出来上がった時の達成感は格別です。また、UAVの飛行訓練を受け、飛行許可の承認も受けました。新しい機器を扱うことが多く覚えることが大変ですが、やりがいのある仕事なので頑張ります。

描く



安齋 翔次郎
アジア航測(株)

国や地方公共団体が管理する区域を高解像度な航空写真等から図化し、現況把握等を目的とした数値地形図作成を担当しています。作成したデータは当該地域の利用以外に、国土地理院が公開している基盤地図情報としても活用されます。多くの方に利用されるデータを提供できることがこの仕事の魅力だと感じています。

解決する



峯野 香織
(株)パスコ

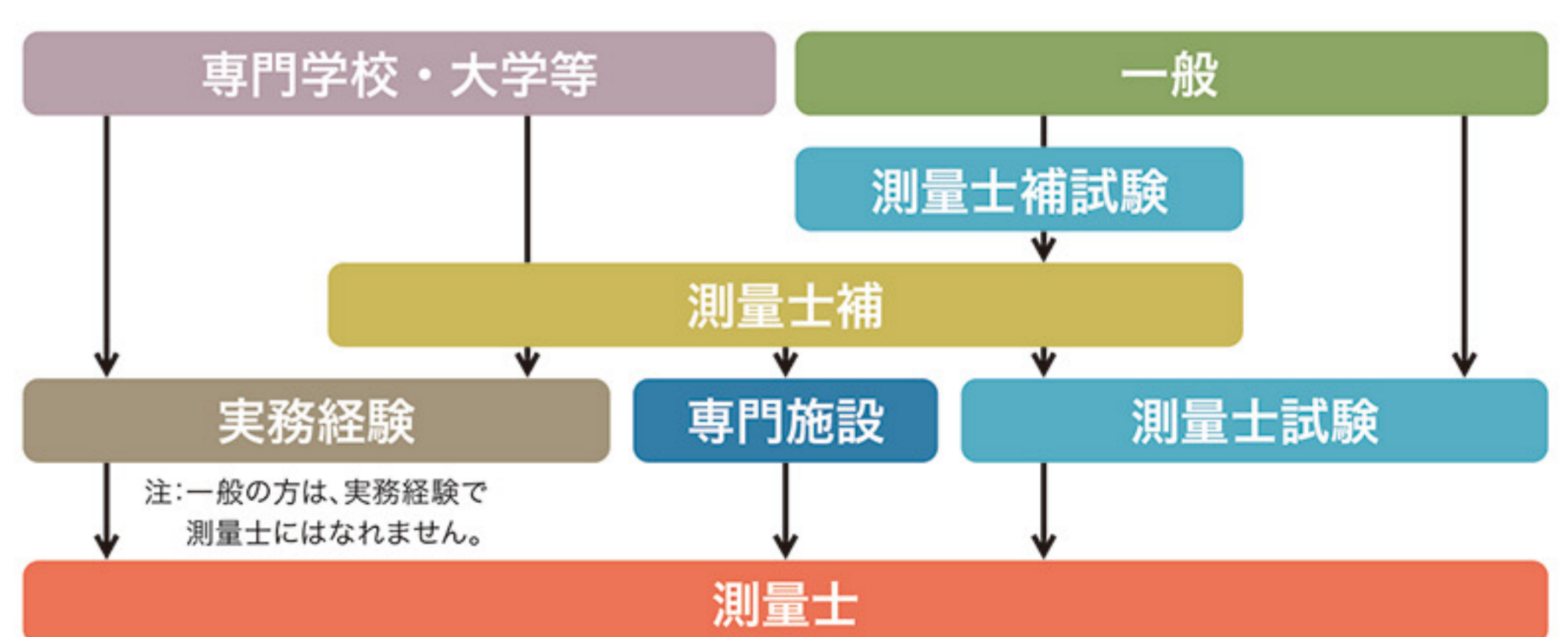
市町村向けに、固定資産税評価額に関する資料整備とコンサルティング業務を担当しています。地番図(課税の基礎となる図面)や航空写真など、測量により整備された地理空間情報を活用することで、市町村が抱える課題の分析と解決に向けた支援を行っています。一見すると無関係に思える税金と測量ですが、地理空間情報は様々な場面で役立っています。

◆ 測量にかかわる国家資格



昭和24年(1949年)に公布された測量法に基づく測量技術者の国家資格として「測量士」と「測量士補」があります。多くの測量の計画や実施は、測量法により、これら国家資格者のみに許されています。

測量士・測量士補になる方法は右の図のとおりです。大多数の測量技術者は、測量専門学校や認定を受けた大学を卒業して測量士補資格を取得後、実務経験を積んで測量士資格を取得します。



◆ 多分野で活躍する測量技術者



測量技術者は、国や公共機関、民間企業や個人のための多岐にわたる測量に従事し、多彩な経験を積んでいきます。

技術士等の資格を取得してより高度なサービスを提供する、管理職や企業経営者となる、大学等の教員として後進を指導し新技術を開発する、公務員として測量の実務を行う、コンサルティングやマーケティングで活躍するといった活躍の道も、測量技術者には開かれています。

